

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	胆管癌におけるピリミジン代謝速度制限酵素(DTYMK)の役割 倫理審査受付番号：4524
研究責任者氏名	廣野 誠子
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2023年9月20日～2027年10月31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：切除不能胆管癌、または、再発胆管癌 / 診療科名等：肝胆膵外科
	受診日：西暦 2014年 1月 1日～2023年8月31日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 アンケート その他() <input checked="" type="checkbox"/> 取得の方法：診療の過程で取得
研究目的・意義	この研究目的は、ピリミジン代謝速度制限酵素(DTYMK)の胆管癌での予後との関連性、治療効果との関連性を検討することです。これによって、新たなバイオマーカーの開発の一助となり、コンバージョン手術への移行率が上昇し、集学的治療成績の向上につながり、意義があります。
研究の方法	(研究の方法・手順) 対象： 2014年1月1日以降、当院で胆管癌に対して手術を受けた患者さん100人と今後手術を受ける患者さん50人。また、今後当院で胆管癌(切除不能 または 再発)に対して薬物治療を受ける患者さん100人。 以下の内容を調べます。 1.手術を受けた患者さんの切除標本を用いて、DTYMKの発現と胆管癌再発、

	<p>予後解析、上皮間葉転換（EMT） マーカーとの関係</p> <p>手術を受ける患者さんの切除標本を用いて、Real time PCR、Western blot 法と免疫染色法にて DTYMK と EMT マーカーの発現を調べます。無再発生存率、転移状況、累積生存、EMT との関連性を調べます。</p> <p>（検討項目） 患者背景因子：年齢、性別、アルコール飲酒歴、HBV 陽性の有無、HCV 陽性の有無、performance states、肝予備能、膵機能、腫瘍マーカーなど 腫瘍因子：腫瘍径、腫瘍個数、肉眼形態、脈管浸潤の有無、組織分化度など 治療成績：無再発生存期間、累積生存期間</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>診療科名等：肝胆膵外科 担当者氏名：中村 育夫 [電話]（平日 9～16 時）0798-45-6582 （上記時間以外）0798-45-6583</p>